

中央区

## 食べて飲んで国際貢献

### 神大生がフェアトレードカフェ

フェアトレードで取引したマンゴーを使ったラッシーを提供する神戸大生  
賀川記念館



神戸大の学生らが30日、途上国の生産品を適正価格で取引する「フェアトレード」の商品を使ったカフェを賀川記念館(中央区吾妻通5)で開いた。いずれのメニューもフェアトレード商品が一部含まれており、ゆったりとした時間を楽しみながら国際貢献できる。1日まで。

を通して世界の問題を身近に感じてほしい」。ランチセットを食べた団体職員の大木藤代さん(59)は「フェアトレードは言葉では知っていたけど協力はするのは初めて。活動が広がればいいですね」と話した。

午前11時～午後4時。  
天国屋カフェ 8078・2511・4870

(岡西篤志)

神大生らで作る国際協力団体「PEPUP(ペパップ)」が、同記念館4階の「天国屋カフェ」を借り切って「開店」。同団体はフィリピンからドライマンゴーを定期的に輸入しており、地域の人と接しながらフェアトレードを広めようとカフェを開いた。

ランチセット(500円)やマンゴー入りのマドレーヌ(200円)、ラッシー(250円)などが並び、同大3年の塚本菜々さん(20)は「料理